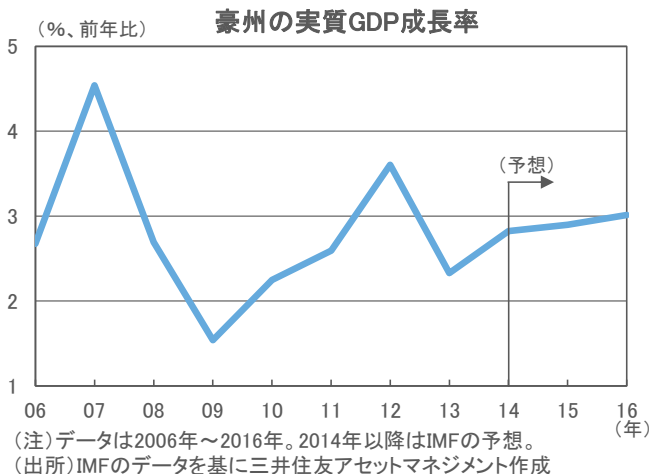


今日のトピック 2015年のオーストラリア経済の見通し 輸出と消費の拡大により景気は緩やかに加速

ポイント1 足元の景気は底堅く推移

景気の先行きには不透明感も

- 景気は、消費の拡大により底堅く推移しています。消費の拡大は、住宅価格の上昇や雇用の緩やかな改善が背景です。輸出は、全体として伸び悩んでいるものの中国向けの拡大など明るい兆しも見られます。
- ただし、資源価格の下落などから企業の景況感が悪化しており、景気の先行きに若干ながら不透明感も漂います。



ポイント2 輸出と消費が拡大へ

低金利政策と中国景気安定が要因

- 輸出と消費の拡大により、来年の景気は緩やかに加速する見込みです。
- 消費は、低金利政策が住宅ローンの返済負担を軽減させることなどから拡大が見込まれます。輸出は、中国経済の安定化により緩やかに回復する見込みです。投資は、輸出の回復などにより企業の景況感が改善し、持ち直す見込みです。



今後の展開 低金利が下支えとなり景気は緩やかに加速、リスクは資源価格の下落

- 賃金上昇の伸び悩みや資源価格の下落などから、消費者物価の上昇率は、豪州準備銀行の目標である+2～3%の範囲で推移する見込みです。物価の安定から政策金利は過去最低水準で据え置かれ、当面景気を下支えすると見られます。
- 景気のリスクとして、資源価格の下落により企業の景況感が一層悪化することが考えられます。
- 豪ドルは、相対的に高い金利差と日銀の強力な金融緩和を背景に、対円で底堅い推移が見込まれます。ただし、主要国の株式や為替市場が不安定化していることから、変動が大きくなる場合には注意が必要です。
- その場合、設備投資の下振れ、賃金上昇の伸び悩みなどにつながると見られます。

ここも チェック!

2014年12月02日 オーストラリアの金融政策(2014年12月)
2014年11月19日 最近の指標から見る豪州経済(2014年11月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。